

令和6年度 粟ノ保小学校だより

令和6年6月21日 NO.6



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】

◇第1回学校関係者評価委員会◇6/12(水)

令和6年度の学校評議員(PTA2名含む)にお集まりいただきました。羽咋市教育委員会事務局から標記委員会の趣旨説明をいただきました。今年度の委員は次の皆様となります。

中野好一氏、井表登喜美氏、保志場晶子氏、川端祐美子氏、山本春奈氏(5名)

さて、校長からは「今年度の教育目標と教育指針」を説明しました。要約しますと、本校の開校以来脈々と受けつがれてきた「ひまわり憲法」を目指し、しっかりと粟ノ保っ子に学力をつけていくこと。そのために、これからの時代の求められている、ICT活用と英語教育を進めていくことについて説明をしました。羽咋市提供のAIドリル活用、英語検定チャレンジの意欲を高める工夫が求められています。

豊かな心を育てる、体力をつけることも取り組んでいきます。年間を通して、授業参観や学校行事を案内します。教育活動を参観しご意見を頂戴し改善を図っていきます。

◇授業参観・給食試食会・CAPのと講習・救急救命法◇6/20(木)

今年度2回目の授業参観でした。保護者も我が子の様子を満足げに参観されていました。粟ノ保っ子の頑張る姿が見られましたね。また、1年生の「給食試食会」もあり、メニューを懐かしみながら、親子対面で食べました。参観後は、4年生保護者、6年生親子対象に、それぞれ標記の会がありました。保護者の皆様、参観ありがとうございました。



◇避難訓練(火災)◇6/18(火)

「命を守る訓練」：火災避難訓練をしました。4月入学の1年生も初めてでした。真剣に取り組む様子が伝わるものでした。今回は初めて総合訓練を行いました。

理科室より出火し、火災発見から放送指示に従って運動場へ避難する訓練でした。

- ① 緊急放送を聞く(火元がどこ、どこへ逃げるか)
- ② 職員室から119番へ実際に電話する
- ③ 児童は担任の誘導で外へ移動(消防署員による避難行動チェック)
- ④ 児童による消火器操作体験

放送後から駐車場集合完了まで2分15秒でした。火災は「いつ」「どこで」発生するか分かりません。かしこくないと避難できません。一番大事なのは、パニックにならず、放送をよく聞いて行動することです。自分勝手な判断が一番ダメです。羽咋消防署員からは、避難の仕方やハンカチで鼻を押さえての避難を褒めていただきました。

今回は、一連の流れを職員、児童で確認でき、有意義でした。4月から地震、火災とこれで2回しました。来月は、再度違うパターンで地震訓練を行います。



◇校長の雑感◇

今年の梅雨はどこへ行ったんだろう、まるで夏じゃないかと思いたくなる天気が続きました。

週間天気を見ると、来週からは雨の降りやすい日が続く予報が出ています。しかしまだ「梅雨入り宣言」は発令されていません。気温だけでなく、湿度も高い環境においては、熱中症のリスクが高まります。学校では、各教室ではエアコンを活用したり、こまめな水分補給を促したりすることで子どもたちの健康を守っていきます。ご家庭でも十分健康管理のほどよろしくお願いします、

話を変えて、ある家庭での場面を紹介します。子どもが一人でゲームソフトに興じている。

仲間と争うところを見たことがない。親としては安心だろうが、本当にそうか。

以前、ある学校のできごとです。低学年児童が私に「ブランコ乗りたいのに友達が交代してくれません」と訴えに来た。またある時、「一輪車を使いたいけど貸してくれません」と。遊びで対立すると児童同士でルールを決めたり大人に助けを求めたりして解決します。話し合ったり事情を説明したりする必要があるわけです。複数で遊ぶよさがここにあるのです。冒頭のブランコ問題では、私がブランコに近づくと先に乗っていた子はすでに降りていた。一輪車の件では、友だちと話し合って遊ぶ時間を決め「もう少しで代わる」と言ってくれた。

一方的な成行きや意地悪な言動はよくないが、このようなお互いの言い分が対立することはあってよいのではないかと。

もめ事を解決するのは、コミュニケーション力や相手を尊重する心が必要になります。子どもの人間的成長に有益に働くと感じた場面でした。

